

令和8年度西柴小防災拠点第二回全体会議録

(20261020 書記：小櫃)

(ホームページ掲示用)

日時： 2026年10月18日(日) 10時00分～12時00分

場所： 西柴団地自治会 会議室(1F大広間)

出席者： 44名 <委員数 90名 出席率 48.8%>

<詳細は参加者名簿に記入しました>

<<進行>>

1. 各班で出席者確認 (仲間を知る) 【 ～10:10】

(1) 各班に置いてある名簿で再確認

2. 配布資料の説明 司会者から説明 【10:10～10:50】

<別紙1>『2026年度拠点訓練内容の説明』資料の内、下記の項目について検討した。

I 目的

II 実施タイム・スケジュール

III 各班の訓練内容紹介

IV 昨年の訓練の反省項目に対する確認事項

3. 各班に分かれての意見交換 【10:50～11:15】

4. 各班からの発表 【11:15～11:35】

<別紙1>資料中に **【結果】** として記載

5. 今後の予定確認 【11:35～11:55】

■ 活動名 ■ ■ 日 時 ■ ■ 集合場所 ■

③ 本番前準備作業

10月31日(土) 13時30分～16時 <西柴小学校 C棟前>

④ 訓練本番 **11月1日(日) 9時～12時** <西柴小学校 C棟前>

⑤ 反省会 **11月15日(日) 14時～16時** <西柴団地自治会館1F>kunn

—> (各班から代表者が集まり反省会、次年度活動確認)

6. 閉会 (下記※の依頼事項を連絡) 【11:55～12:00】

山田 委員長 締めの挨拶 —> 椅子・机片付け

※1 情報連絡方法について 「西柴団地自治会HP」を使って情報発信します。

※2 メール連絡可能な方は西柴団地自治会宛てに「R8年拠点運営委員のメルアド」のタイトルで本文に氏名を入れて送信ください。

西柴団地自治会メルアド: nisisiba4@yahoo.co.jp

以上

を実施した。

<<検討結果>>

(1) 要約

- ① 訓練内容 → 別紙1 案 で進める
- ② 実施タイム・スケジュール → 別紙1 案 で進める
- ③ 訓練内容 → 今回各班で考えた内容で実施
＜別紙1＞資料中に **【結果】** として記載
- ④ 今後のスケジュール
 - 10/31 13時30分より事前準備作業を実施する
 - 11/1 9時00分より訓練本番実施

(2) 詳細

【別紙1】 『2026年度拠点訓練内容の説明』 資料

文中の **【結果】** に 各班検討結果を記載

I. 2026年度 西柴小地域防災拠点訓練 の目的

- (1) 運営委員の役割を知る＜ー現地でどう行動するかを知る
- (2) 地域住民参加者と運営委員が協力して開設要領を確認する
→ 「避難してきた人が避難所開設作業を出来る様にする事を目指す！」
 - ①避難者受付 ②避難者と運営委員の協力体制 ③トイレの設置と利用ルール
- (3) 新設された備蓄倉庫の収納状況の紹介

II. 実施タイム・スケジュール

【第一部】 9時00分 ～ 10時00分 運営委員による設営訓練 (運営委員)

※【地域住民参加者受け入れ】 9時50分 ～ 10時00分

【第二部】 10時00分 ～ 12時00分 地域住民参加者による避難所設営体験

(地域住民訓練参加人数→ 昨年、一昨年は10名→今年では50名を目指す！)

III. 各班の訓練内容紹介

■ 本部

- 避難所運営状況把握 ＜ー 開設宣言
- 公的機関との情報交換指示 ＜ー 情報班との連携
- 訓練進捗管理 ＜ー トランシーバ利用による進捗確認
- 横浜市配給「開設キット」との訓練内容すり合わせ
＜昨年度市から支給された資機材＞ の 利用方法検討
- 防犯カメラ（避難所設置用）1台 ＜ー 設置場所は市からの指示待ち
- 防犯ビザー 10箱（保管は1つの箱に収納）

【結果】

- 防犯カメラ → 受付出入口に設置
- 防犯ブザー → 夜間トイレに行くとき貸出、本部で貸出管理
(防犯ブザーにナンバリングを行う)
- 本部の場所は→ (第一部) 受付そば
(第二部) 体育館(情報班のそば)

○ホワイトボードが必要

■ 情報班

○ デジタル無線機を使った金沢区役所との交信（情報交換）

○ 災害時利用公衆電話の設置

○ アマチア無線協力会との連携

※ 昨年購入した 「どこでもかけるシート」 の試行

西柴団地自治会・広報部に 写真の依頼 <— 小櫃より依頼する

【結果】

○ 2025年度に実施した資料（タイムチャートと訓練内容）

を2026年度用に修正した内容で実施 <資料あり>

○ 地域防災拠点確認票を作成した（・外観・内部・通信記録表（1号、2号、3号））

<資料あり>

○ 「どこでもかけるシート」 の試行は体育館で実施する。

■ 避難者管理班 <①受付係を重点に実施、 ②体育館設営係は参加者と一緒に実施>

① を行ったあと ②に実施する →②は資機材のみ事前作業で体育館に運んでおく。

① 避難者の受け入れ （昨年実施した内容で実施）

② 体育館に避難場所設営

参加者 と 運営委員全員で

段ボールベット、 プライベートテント設営

※ 昨年市から支給された

○ エアマット 2箱（エアマット60個＋空気入れ1台が1箱に収納）

○ 電動エアポンプ 1箱（1台） の 利用確認

【結果】

○ 人の配置 → 正門 1人、 B-A棟間に1人 の2名で誘導

○ 前日作業 → 受付のところにブルーシートを貼り、 段差がわかるようにする。

○ 役割分担

a. 受付手前に体温測定 2名 （昇降口の内側部分）

b. 校舎にあがるための靴袋を来た人に配布 2名

机といすは当日準備する。

受付 5名、 案内係 1名

※ 当日きたメンバーの人数でうまく割り振るしかない！

※ 時間ができた人から訓練場所を見て回ってほしい。

○ 受付のやり方

① 受付をする

② 5色の付箋（5班・色分け） 名刺札に名前を書きホルダーに入れる。

あらかじめ班の色を決めておく（今回はランダムに配布）、本来は班ごとに行く場所を指示して行ってもらう。

訓練は校庭へ行き、ハマッコトイレを見学（雨天は中止）プールからポンプで水が引けるかポンプ確認。

見学コースは3種類（ハマッコトイレ、簡易トイレ（2F）、テント簡易トイレ）
プラス 1F 図工室（救護室）

③「外でハマッコトイレを見てください」と案内する

※ 外に出て、トイレ見学の後、校舎に入る。

<まとめ>

A 受付手前で体温測定、昇降口の内側部分 2名

B 校舎にあがるためのくつ袋配布 2名

① 受付をする 5名

② 5色の付箋（あらかじめ班の色を決めておく←今回はランダム）
名前を書き、ホルダーに入れる。

③ 外でハマッコトイレを見学後、校舎に入る 案内係 1名 の順で実施

■ 環境衛生班

①室内設置係（簡易トイレ） と ②室外設置係（ハマッコトイレ）
の二係に分かれて実施する。

（1） 室内設置係（簡易トイレ）

① C棟2Fトイレに簡易トイレ設置

② 体育館でテント式トイレの設置と説明

（2） ハマッコトイレ

① 事前作業としてマンホール穴の位置確認、ポンプの稼働確認？

② 本番は 各班作業でトイレを組み立て、参加者には説明のみとする

※ 昨年購入した 「○トイレ用すのこ、と 手すり」の試行

【結果】

○ トイレ関係の訓練内容確認

①ハマッコトイレは組み立てて紹介のみとする、取り扱い説明書を
班出席者に配布した。 昨年購入した「○トイレ用すのこ、と 手すり」
の試行は実施する。

②2Fトイレへの簡易トイレ設置は班で実施→参加者に説明

③体育館のテント式トイレは参加者に組み立ててもらう（体験訓練）

④ハマッコトイレ用水送りポンプの稼働は実施してみる。

⑤事前作業としてのハマッコイレマンホール確認作業
とポンプ組み立て作業は10/31実施する。

■ 食料物資班

（1） 支給品の配給 （ポータブルトイレパック、災害の「備え」チェックシート）
→@@ アイラップレシピの配布を考えていますA4一枚ですが、

（2） 食料班 配布物資（予定）

トイレセット（1回分） 100セット購入（昨年のあまり30くらい）

アイラップ 60個*2=120購入

【結果】

○レシピチラシをラスクル印刷依頼済

○アイラップ 120セット購入済

○配布訓練をC棟1Fで手袋をして渡す。

○「かまど君」での炊飯をせず（感染症対策）、倉庫前に展示のみとする。

○自宅避難の呼びかけと、避難所備蓄品が200名分であることを伝える。

■ 救護班

○ 図工室の机の配置 確認

今回は 3Fに避難できない方に対するー> 福祉避難所への
誘導手順の確認。

◎ 避難者管理班 体育館設営係 と協力して段ボールベット、プライベートテント設営

【結果】

○救護室用に「受付票」を作成した。 試行してみる。 （用紙有）

○福祉避難所への誘導

・専門職への連絡方法 ・場所の掲示 ・C棟2階に部屋の利用確認

○訓練に使用する物

・救護室に段ボールベットを3台確保する。

・アルミブランケット 20枚

・ホワイトボードの利用

■ 全体を通しての質疑・応答内容

(1) 新設備蓄庫の紹介は誰が行うのですか？ <ー事務局・小櫃が担当します。

(2) 訓練内容について実際の災害時を想定してのタイムスケジュールを
考えては！ <ー 発災時に最初に何をするかを考えた内容に絞り、
タイムスケジュールについては訓練で確認すべき
事をポイントに考えました。

(3) 水配給の方法についての展示をする時に、 拠点になぜ水を取りにこなければか、
どんな方法で配給が実施されるのかを参加者に知ってもらう
事が重要と思うが！ <ー 説明チラシを作ります。

(4) 水配給訓練で参加者に西柴小学校から自宅まで6kgの水を運ぶのを体験する
訓練を考えては！ <ー 今回は準備不足の為、
次回どのように取り組むかを考えます。

(5) 見学ルートに救護室（1F図工室）が入っていないが？
<ー 備蓄庫見学の前に入れる事で考えます。

IV 昨年の訓練の反省項目に対する確認事項 <<説明のみ実施>>

(1) 地域住民参加者が少ない、参加者を増やす工夫を考えてください。

ー> 各自治会の事情により取り組みを考える。

○西柴については

① 防災担当副会長より組長さんへの参加依頼を行う（強制ではない）

② 広報方法を「夕涼み」の時の方法で実施してみる。

(2) 3F避難所に行けない人の対策を考える。

ー> 1F 図工室（救護室）に待機場所を作り、 待機してもらう。

「福祉避難所」への誘導 か C棟2F個別避難教室への
振り分け ー> 救護班で試行

(3) 訓練時は履物持参にしては！

ー> ① 運営委員の人には第二回全体会議で依頼する。

② 参加者へはクツカバーの滑り止めで試行する。(小櫃 担当)

(4) トイレ便座に手すりが必要。 ー> 購入したので試行する。

(5) ペット避難の訓練。 ー> 西柴の問題であるので西柴団地自治会が担当、
受付でペットのいる人には「ペット避難拠点訓練の要領」冊子を配る。

(6) 運営委員全員が車いすの取り扱いを覚える。

ー> 運営委員として必要とする人はいなかったなので今回は実施しない。

(7) 障害がある人用のスペースを用意する。

ー> C棟2階を使う予定 受付に校内地図を貼って判るようにする。

(8) 地域住民参加者にも訓練スケジュールが判るようにお願いしたい。

ー> 掲示板を作る。 @@大きな紙にスケジュール表を作る。

(9) 説明者の声が聞きづらい。

ー> 説明者にハンドスピーカー(10台あり)を配る

<<結果を踏まえて本番日(11/1)までに実施する事

(1) 本番用プログラム作成(運営委員用と地域住民参加者用)

(2) 本番用タイムチャートの作成

(3) 10/31の事前作業内容の作業項目チェックシート

(4) 配布用資料の作成

<運営委員用>

① 班ごとに訓練で使う書類 <ー 各班

② 班に必要な掲示用白板 (本部、 情報班、 救護班)

○ 「どこでもかけるシート」を切って何枚使えるか調べ、
不足分は模造紙を利用方法を考える <ー 事務局

<地域住民参加者用>

① 配給品の説明書き <ー 食料物資班

② 水配給訓練時のチラシ <ー 事務局作成

③ ペット避難の説明書 <ー 事務局が用意

(5) 訓練掲示物 (大きな紙に書きだす)

① 訓練スケジュール

② 訓練場所地図

以上